

令和 3 年 10 月 21 日

地域医療支援病院の承認にあたっての考え方

社会福祉法人同愛記念病院財団
同愛記念病院
院長 平野美和

1 同愛記念病院の理念・概要等

同愛記念病院の理念は、「地域の要請をふまえ地区の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献します。」この理念に基づき、地域医療の中核を担う急性期病院として、患者さんや地域の医療機関から信頼される病院を目指し、診療技術の向上や診療環境の質の改善に日々努力しています。

地域完結型医療を推進すべく、地域医療における各医療機関の機能・役割を理解し、病診・病病連携を重視した医療を提供しています。また、地域包括ケアシステム構築の一翼を担うべく、地域の中核病院としての自覚をより一層強く持って地域医療の充実に貢献していきます。

(概要)

- ・所在地 東京都墨田区横網 2-1-11
- ・病床数 403 床(一般病床 373 床、療養病床 30 床)
- ・診療科目 24 科
内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、神経内科、腎臓内科、アレルギー科、精神科、小児科、外科、血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科
- ・職員数 558 名(令和 3 年 10 月 1 日現在正職員)
(医師 91 名、看護師 246 名、その他 221 名)
- ・その他 手術室:7 室、医療機器:CT2 台、MRI1 台、血管連続撮影装置 2 台、核医学検査装置(シンチ)1 台、内視鏡下手術支援ロボット(ダヴィンチ)1 台
- ・施設 病棟(9 階建・昭和 51 年築)、診療棟(5 階建・昭和 62 年築)、管理棟(7 階建・平成 14 年築)、立体駐車場(2 階建 3 層・令和 1 年築)
- ・認定施設等 臨床研修病院、内科専門研修プログラム
- ・関連施設 同愛記念ホーム(特別養護老人ホームほか 5 事業)

(沿革)

- ・昭和 4 年 6 月 総合病院として診療開始
大正 12 年に発生した関東大震災の際、米国赤十字社を中心に集められた義援金の一部をもとに政府が財団を設立し、これを母体として昭和 4 年に開設した。
- ・昭和 31 年 4 月 社会福祉法人同愛記念病院財団同愛記念病院として診療開始

2 地域医療支援病院の役割、当院の役割

当院は、平成 13 年 4 月に病診連携室を開設し、その後地域医療連携室と名称変更、登録医制度も開始し、地域のかかりつけ医等のニーズに応えられるよう急性期中核病院として地域医療に貢献してきました。

これからも地域の医療機関との連携を今まで以上に強化し、充実させるとともに、地域全体の医療の質向上を図り、地域の患者さんに、より良い医療を迅速に提供できるように努めていきます。

(当院の役割)

(1) かかりつけ医やその他の病院からの紹介患者さんに対する医療提供

かかりつけ医などから紹介された患者さんを積極的に受け入れています。また、一連の治療などが一段落し症状が安定した際は、かかりつけ医に紹介させていただきます。

○ 令和 2 年度実績 紹介率 55.7 %、逆紹介率 76.6%

(2) 救急医療の提供

東京都指定二次救急医療機関として、救急患者の受け入れを行っています。

基本的には常勤医が当直を行っています。365 日 24 時間体制で救急患者を受け入れている。時間内は基本的に各科外来で診療し、時間外は、内科、循環器内科、外科、小児科、産婦人科の診療体制と緊急時緊急の各科連絡網により対応しています。

○ 救急自動車により搬送された患者の数 令和 2 年度 1,809 件

(3) 近隣の医療機関と医療機器や入院設備などの共同利用

近隣の医療機関からの依頼を受け、CT や MRI などの医療設備を用いた検査の実施を行っています。

また、入院病室に紹介元のかかりつけ医が来院し、当院の主治医との共同診療により、今後の治療方針などを検討する開放型病床も有しています。普段から診察してもらっている先生と当院の主治医が一緒になり患者さんに安心してより質の高い医療を提供することができます。

○ 共同利用の実績 令和 2 年度 546 件

(4) 地域の医療従事者に対する研修会の実施

地域の保険医療及び福祉機関の医療従事者を対象に、症例研究会や勉強会などを開催しています。

○ 研修会等開催状況 令和 2 年度 15 回

(5) 在宅療養後方支援病床確保モデル事業の受託

自宅で療養中の区民が救急搬送するほどでもないが、体調の変化により医療が必要な患者さんを墨田区が病院に受入れ要請を行い、速やかに受け入れを行う事業の指定を受けています。

(受託基準)

- ① 24時間の入院受入れが可能であり、24時間の内科対応があること。
- ② 医療連携室(相談室)と退院調整部門を設置していること。
- ③ かかりつけ医等からの入院に係る電話相談について、年中無休24時間の受け入れ体制をとること。

○平成30年7月より開始 実績 34 件

(6) 病院救急車を利用した在宅療養サポート搬送システムの実施

墨田区医師会は、在宅(施設を含む)で療養生活を送る区民等が医療機関での治療が必要になったときに区内の病院が保有する病院救急車を利用して区内医療機関に搬送し、患者が回復出来たら自宅へ戻ることにより、区内で療養が完結することを目指し在宅療養サポート搬送システムの事業を令和2年1月より開始しました。

同愛記念病院は、保有する病院救急車でこの事業に参加しています。

(事業目的)

- ① 在宅療養している区民の医療を区内で完結させる。
- ② 区内で医療を完結させることより、在宅へ戻ることを支援する。
- ③ 区内医療機関の病診連携を強化する。

○令和2年1月より開始 実績 13 件

(7) すみだ平日夜間救急こどもクリニック(墨田区委託事業)の実施

一般の医療機関などが閉まった平日の夜間に、小児科の救急診療を当院の救急外来で行っております。(平成17年11月開始)

(診療日時)

月曜日から金曜日(祝日、年末年始を除く)

診療時間:午後7時から午後10まで

○令和2年度 利用者数 154 名

3 災害医療

令和2年10月1日現在において、区東部の**東京都災害拠点連携病院**に指定されております。墨田区地域防災計画(災害時医療救護活動マニュアル)において区内7か所開設予定のトリアージポスト並びに医療救護所を発災時に病院敷地内に開設できる唯一の病院となります。また、ハザードマップによる水害被害は50cmの水位の地にあり水没しない病院となります。

平時から、災害医療に備え、事業継続計画(BCP)を策定し、被災した状況を想定した研修及び訓練を自院及び地域で行うとともに、病院機能を維持するために必要な食糧、飲料水、医薬品等の備蓄を行う等、体制を整備いたします。

現在使用している病棟(9階建・昭和51年築)が旧耐震構造のため、同愛記念病院整備計画(新棟建設等)により、令和4年4月には、現在の敷地内に免振装置を備えた12階建病棟が完成いたします。当院が関東大震災から復興を目指して設立した経緯を考慮すると、災害時に地域において中核的な役割を果たす必要があります。この新病院においては、トリアージスペース、備蓄倉庫及び大人数収容スペース等の設備面の整備が行われています。新棟完成後は**東京都災害拠点病院の指定**を目指していきます。

災害発生時には、災害拠点連携病院(将来は災害拠点病院)として、東京都、墨田区や関係機関等と連携しながら、円滑に傷病者を受入れる等、地域の実情に即した災害医療を提供していきます。

4 感染症医療

当院の新型コロナウイルス感染症への対応は、外来患者の検温・問診チェックに加え、令和2年4月9日から「帰国者・接触者外来」を開始、入院は陽性患者の受け入れを4月22日より5階病棟HCUに3床を開始、7月1日からは6階病棟の個室エリアに陽性3床、疑似症2床の計5床を受け入れる体制を整えました。さらに令和3年1月7日からは陽性11床、疑似症2床に拡大しました。令和3年6月20日からは6階病棟に陽性30床、7階病棟に疑似症20床の受け入れを行っています。

こうした当院の新型コロナウイルス感染症への対応に対して、令和2年3月24日付で「**東京都感染症診療協力医療機関**」に、また6月30日付で「**新型コロナ疑い救急医療機関**」、「**東京都新型コロナウイルス感染症疑い患者受け入れ協力医療機関**」の指定を受け、10月23日付で「**診療・検査医療機関**」の指定を受けています。さらに令和2年12月28日付で「**東京都新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関**」、令和3年2月3日には「**新型コロナウイルス感染症患者転院等受入医療機関**」の指定を受けました。

平時から、感染拡大時を想定した感染防護具の備蓄や感染管理の専門人材の育成、感染制御チームによる院内感染対策の徹底やクラスター発生時の対応方針の

整備、検査体制の確保等を行っております。

感染拡大時には、感染症指定医療機関やかかりつけ医等と連携しながら、患者の重症度に応じた積極的な受け入れを行うことにより地域の感染症医療に貢献いたします。

現在進めている同愛記念病院整備計画(新棟建設等)では、一般病棟に陰圧病室を4室整備し、外来診察室改修では、症状のある患者の診察、検査のために一般患者と動線を分離した専用診察室を整備し、令和4年4月には、完成し稼働いたします。

今後も新型コロナウイルス感染症を含む新興感染症等への対応を墨田保健所と連携しながら積極的に取り組んでいきます。

○令和2年度 陽性患者受入患者延数 1,406名
(令和2年4月22日～令和3年3月)
PCR検査数 7,553件
(令和2年4月21日～令和3年3月)

5 同愛記念病院整備計画(新棟建設等)

令和4年4月には、現在の敷地内に建設中の免振装置を備えた12階建病棟が完成いたします。その後令和5年には、旧病棟解体、診療棟改修、外構整備が終了し新病院としてスタートいたします。

参照:同愛記念病院新棟建設基本構想・基本計画等

以上